

令和6年9月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

き ず な

す 住 み よ い げん 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

学校前花壇の除草作業 9月1日(日)8:00～ 環境整備部会

厄介な人騒がせ台風10号が過ぎ去って、少しだけ透き通ってきたような空の青さのもとで、カラカラ天気にもかかわらず伸び放題だった雑草を、環境整備部会の4名の方でキレイに取っていただきました。この

日は、コミュニティからお願いしているガードレール清掃などの行事を行う区もあって、行事が輻輳し参加者がいつもより少なかったのですが、皆さんに頑張ってもらって、1時間30分ほどで作業を無事に終わることができました。

7月末に植付けをした後からは、梅雨が終わり、ほとんど雨が降らず、花苗の方の

成長は遅いように感じました。どこでも、育つのが早いのは雑草です。花の方もこれからちゃんとキレイに咲いてほしいと思います。環境整備部会の4名の皆さん、大変お疲れ様でした。

校区内のガードレール清掃 真っ盛り！

五代区、南上・南下区(9/1) 万才区、辺田区、三坂区(9/8)

大草野校区のガードレールは、佐賀県で一番キレイになっているのではないのでしょうか！？ 国スポ・全障スポを盛り上げるためとはいえ、コミュニティの呼びかけに答えていただいている、全校区民の皆様に、大きな声で「ありがとうございます！」をお届けしたいと思います。朝からの作業とはいえ、異常気象です、皆さん汗まみれで一生懸命に作業をしていただいていた。万才の長く続く転落防止柵を清掃していた女性の方は、「こんなに大変とは！」と言っておられました。SAGA2024推進課も、皆さんのご協力を大変喜んでます。こんな感じで、SAGA2024大会そのものが成功裡に終わることを望んでやみません。写真

は、紙面のスペースが限られていますので、3枚の掲載で申し訳ありません。コミュニティの皆さん、次は、みんなで、全力でかかしを作って来訪者や他の校区の皆さんに楽しんでもらうように、頑張りましょう。



●●● 塩田川右岸刈草焼却作業：9月7日（土）13:00～ ●●●

猛暑の中で、益世会はしっかり頑張っています！

8月25日に伐採を行った刈草の焼却作業は、台風10号の影響で予定より1週間遅くなりましたが、9月7日（土）13時から役員を主に17名で行いました。1週間長く乾燥させたせいか、これまでの焼却作業より煙が少なく、万遍なく火が行きわたり、かつ延焼スピードも速かったため、17時ころと思っていた終了時刻が1時間くらい早まりました。塩田川沿いの法面を見ていただくと分かると思



ますが、こんなにきれいに広がった黒色を見たことがありません。

それにしても、今年の夏の猛暑は本当に異常で

す。毎年いただくかき氷の差し入れが、今年は格段に冷たく美味しかったこと、皆さんの眉間に寄っていたシワが、笑顔になり、すっかり生気を取り戻していました。



各区区長（理事）さんを中心に多くの会員の皆様の御協力を得て、事故もなく無事に完了しました。参加いただいた方々、河川沿いにお住いの方々など皆様の御協力に心からお礼を申し上げます。

役員会でかかしの骨組みを制作（9月8日：日）



かかしの材料費購入費用に充てるために、さが未来アシスト事業費補助を申請していましたが、9月に入って内定の知らせがありました。

これまで、ずいぶんと活躍してきた古いかかしの骨組みを、ワラを使わないでできるように、ペットボトルを用いて新たに作っていきたいと思います。30体ほど作り、6部会に5体ずつ配ることができるように、役員会で頑張って作りました。この骨組みを利用して、各部会がどのように仕上げ、どんな姿で展示してもらえるか、大変楽しみにしています。（ハードルを上げています。）今月中にほとんどの部会がかかしを完成させることになっています、楽しみにお待ちください。

和光幼稚園園児ののぼり旗応援の取組を紹介するために

SAGA2024推進課が取材(9月2日：月、6日：金)

SAGA2024開催に際して、各機関団体などが様々な応援をしていますが、和光幼稚園でものぼり旗を作っていたことを8月前半号でもお知らせしましたが、この大会の記録として残すために推進課からの取材があっていました。和光幼稚園のみなさん、ご協力ありがとうございました！

私の考え方や行動に大きな影響を受けた大切な先輩が亡くなった。高校陸上駅伝界では知らない人はいないと思うが、これまで傍らからずっと見てきた先生の半生は、晩年に聞いた話と総合すれば、反骨と不屈の精神が根源にあつたのだと思います。子どもの頃に「つんぼ大工の息子」とからかわれ、この悔しさから、「今に見ていろ！」という気持ちで必死に頑張った、と私に打ち明けられた。そして、普通の人が残せないような成果や結果を残された。優柔不断な私に、人間関係の中で攻めるときと引き際など、身をもって教えていただいたと思つている。脳梗塞で倒れた後は、とても苦しんでいられたが、それを割り引いても、実に素晴らしい半生を送られたと思う。先生、自信をもつて天国の門をたいてください。お見事な一生でした。合掌

《編集後記》

